

第4回 モーダルシフト船の運航情報等一括情報検索システム構築WG 議事概要

・日 時： 平成31年3月7日(木) 14:00~16:00

・場 所： 中央合同庁舎2号館低層棟1階共用会議室5

- 内航未来創造プランにおいて、陸上輸送からのモーダルシフトをより一層推進し、内航海運の新たな輸送需要を掘り起こすことが重要としていることから、システムの本格運用においては、可能な限り多くの船社が参加し、より網羅的に情報を検索可能とすることが、このシステムの価値を高めることとなるのではないか。
- 「日時」で検索した場合はある場所からある場所までの区間で存在する「ルート」を、「曜日」で検索した場合はその航路がデイリーや、月水金で出航しているといったその区間の「パターン」をそれぞれ知りたいのだと思う。前者と後者は見せ方が変わってくると思われるので表示方法を工夫してはどうか。
- 検索条件の「積荷等」は運賃の要素の一つであることから入力可能としていたが、検索結果で運賃を一律表示しないことを踏まえ、検索条件から「積荷等」を削除すべき。
- 海運モーダルシフトの推進ということを念頭においた場合、なるべく陸上の輸送区間を短く、海上の輸送区間を長くするべきであることから、検索結果の表示順は合理的なルートの範囲内で「CO2 排出量」が少ない順が妥当ではないか。
- 海路情報の登録・更新作業は、船社が個別に行うものとしてはどうか。また、情報を正確かつ継続的に更新することが重要であることを踏まえ、参加船社全体で登録の精度を維持する必要があるのではないか。
- 利用者にとって使いやすいシステムとなるよう、検索結果表示画面では、日本地図を表示の上、ルートを表示させるなど視覚的な面での工夫について、今後の検討課題としてはどうか。

以上を踏まえ、資料2及びシステムを修正した上で、「海運モーダルシフト推進協議会」において、WGのとりまとめとして報告することとなった。

以上